

2011年3月期 決算説明会



株式会社 エフピコ
2011年 5月11日



本資料取扱のご注意



本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、無断での引用や転載、複製は禁じられております。

◆ <u>実績報告</u>	経理財務本部長	瀧崎 俊男	・・・・・・・・ 3
◆ <u>中・長期目標へ向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘	・・・・・・・・ 9
◆ <u>業績状況と企業規模拡大</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	・・・・・・・・ 17
◆ 添付資料			・・・・・・・・ 34

実績報告

2011年3月期

経理財務本部長
瀧崎 俊男

販売状況 (2011年3月期 第4四半期累計)



計画は、'10年8月9日発表の予想

単位:百万円	第4四半期累計 実績		増減	前年比
	10/3月期	11/3月期		
ト レ - 容 器	26,967	26,866	100	99.6%
弁 当 容 器	68,714	73,039	+ 4,325	106.3%
そ の 他 製 品	1,737	4,645	+ 2,907	267.3%
【 製 品 】	97,419	104,551	+ 7,132	107.3%
包 装 資 材	16,961	27,292	+ 10,330	160.9%
そ の 他 商 品	10,537	8,876	1,661	84.2%
【 商 品 】	27,499	36,168	+ 8,669	131.5%
【 売 上 高 】	124,918	140,720	+ 15,801	112.6%

数量 伸長率	第4四半期累計 計画		
	11/3月期	構成比	達成率
103.5%	28,100	19.7	95.6%
111.7%	72,400	50.6	100.9%
	2,100	1.5	221.2%
108.2%	102,600	71.7	101.9%
	29,800	20.8	91.6%
	10,600	7.4	83.7%
	40,400	28.3	89.5%
	143,000	100.0	98.4%

製品

汎用および軽量化製品の拡販、新デザインや新機能製品が好調

- ・出荷枚数 : 前年比108.2%伸長
- ・製品価格 : 前期に実施した製品値下げの影響が9億円
- ・トレー容器 : 再商品化“エコトレ”が伸長 数量前年比117.8%
一軸延伸により強度UP・軽量化したPETトレーが好調
- ・弁当容器 : 漏れにくい電子レンジ対応容器(タルク)、
汎用タイプのフードパックが好調
耐寒・耐熱 発泡PS容器のマルチFPが好調
軽量化製品の刺身・寿司容器が好調

その他製品

鶏卵パック、農産物の容器、フィルム袋など新規マーケットへ進出

- ・鶏卵パックをはじめ農産物向け容器を製造販売する
ダイヤフーズ(株)を連結グループ化
- ・農産物の容器、フィルム袋 が販売増

商品

食品包装資材の取扱量を拡大

- ・ユカ商事(株)より消耗品・包装資材調達に関する事業譲受け
- ・包装資材問屋インターパック(株)を連結グループ化

決算概要 (2011年3月期 第4四半期累計)



計画は、'10年8月9日発表の予想

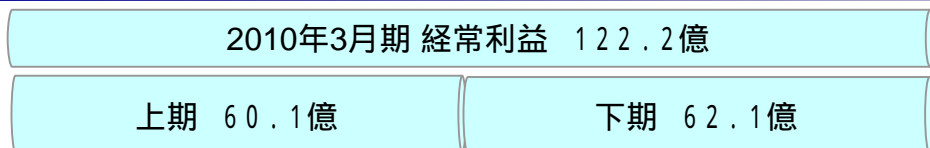
単位:百万円	第4四半期累計 実績				第4四半期累計 計画				
	10/3月期	構成比	11/3月期	構成比	増減	前年比	11/3月期	構成比	達成率
【 純 売 上 高 】	124,918	100.0	140,720	100.0	+ 15,801	112.6%	143,000	100.0	98.4%
製品売上高	97,419	78.0	104,551	74.3	+ 7,132	107.3%	102,600	71.7	101.9%
商品売上高	27,499	22.0	36,168	25.7	+ 8,669	131.5%	40,400	28.3	89.5%
【 営 業 利 益 】	11,892	9.5	13,058	9.3	+ 1,166	109.8%	13,700	9.6	95.3%
【 経 常 利 益 】	12,220	9.8	13,465	9.6	+ 1,245	110.2%	14,000	9.8	96.2%
【 当 期 利 益 】	7,114	5.7	7,959	5.7	+ 844	111.9%	8,240	5.8	96.6%

- ・M&A : 4月 消耗品・包装資材に強みを持つ ユカ商事(株)より事業を譲受、商品調達とその取扱を強化
6月 フィルムメーカーである (株)アルライトをグループに加え、製品開発力の更なる強化を図る
10月 関東圏を中心とした大手包装資材問屋インターパック(株)をグループに加え、更なる商品取扱量の拡大を図る
12月 鶏卵パックをはじめ農産物向け容器を製造販売するダイヤフーズ(株)をグループに加え、新規マーケットへ本格的に進出
- ・合理化 : 製品の軽量化、素材切替、製品アイテム数の絞込み、生産および物流をはじめとしたグループ全体でのコスト改善
- ・販売面 : 汎用製品および軽量化製品の拡販、4つの新しいシートを中心とした新製品の販売が好調
- ・生産面 : 生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に対応した生産能力の拡大と生産拠点の最適化
- ・物流面 : 需要に即した供給体制の構築、物流品質およびサービスレベルの向上、流通コストの削減を推進

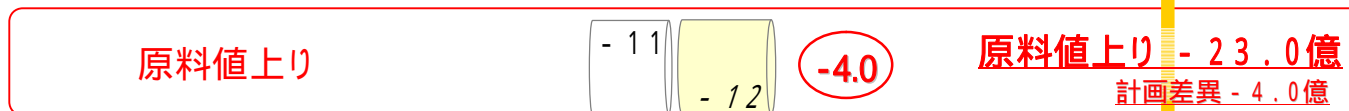
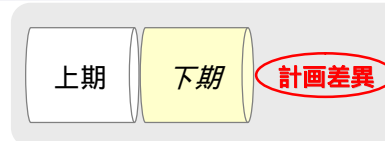
2011年3月期 経常利益 増減要因



単位: 億円

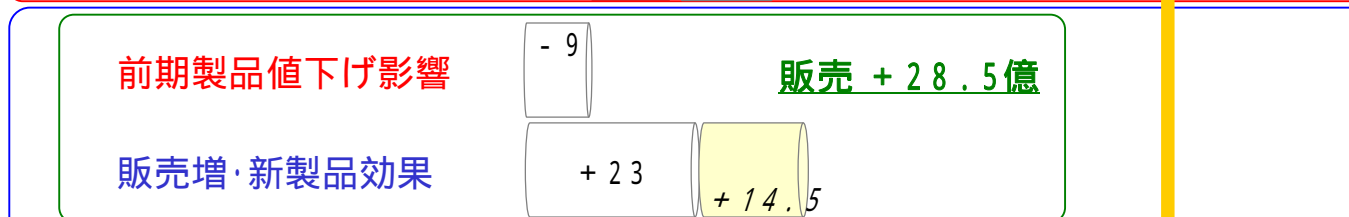


‘10年3月期 経常利益
122.2億



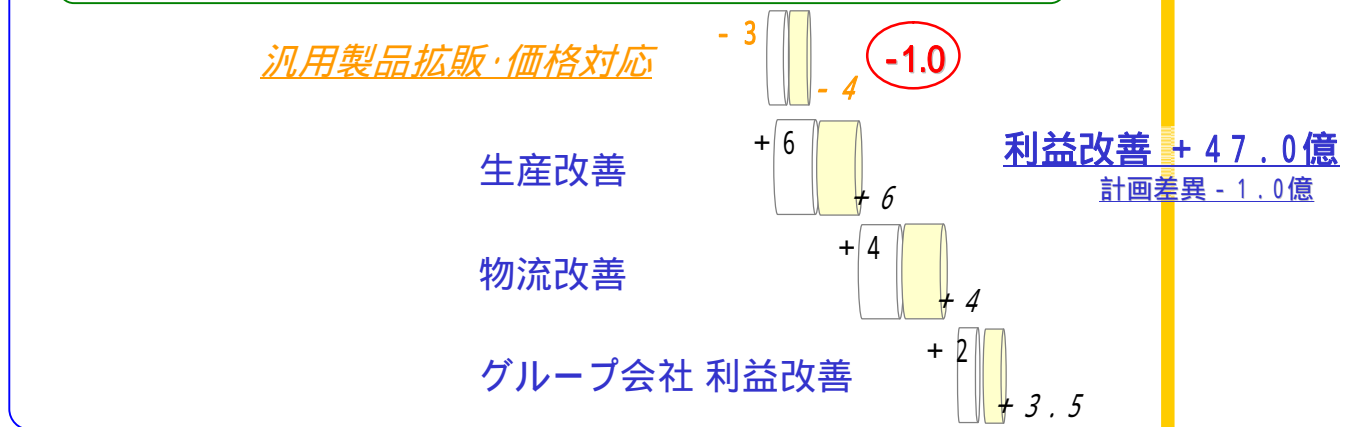
原材料

原材料価格は‘09年中旬より再度値上り
更に、‘11年初旬より急騰



販売

製品数量108.2%
汎用製品の拡販とシェア拡大に注力
新製品の拡販、エコトレーの拡販



生産

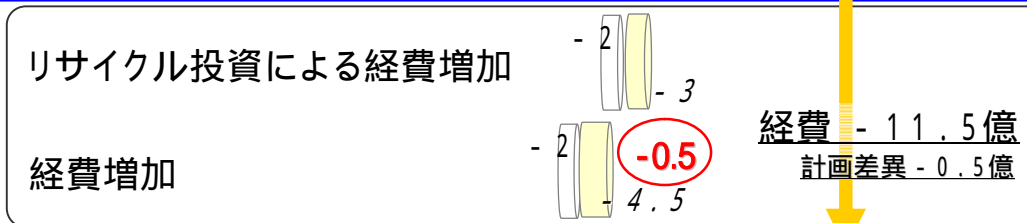
製品数量増加に加え、改善施策の効果

物流

出荷数量増加に対し改善施策の効果
アイロジック福山ピッキングセンター稼動

グループ会社

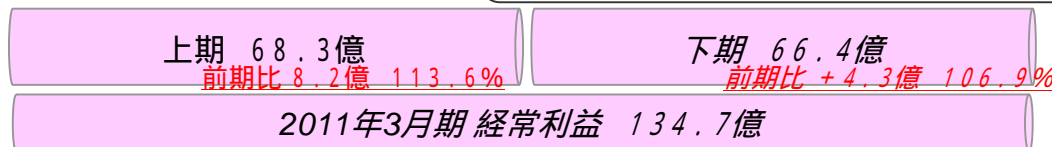
- 既存グループ会社の改善に加えて
- ‘10.4.1: ユカ商事(株)より購買部門を譲受
- ‘10.6.1: (株)アルライトをグループ化
- ‘10.10.1: インターバック(株)をグループ化
- ‘10.12.1: ダイヤフーズ(株)をグループ化



リサイクル投資

- 回収容器選別センターの全国展開
- リサイクル洗浄ライン更新
- 関東・中部リサイクル工場 リニューアル
- PETメカニカルリサイクルプラント稼動

設備投資 126億



‘11年3月期 経常利益
134.7億
前期比 + 12.5億 110.2%

‘11年3月期 販売実績 **1,407億** 112.6%

製品売上高: 前期比: **107.3%** +71億

製品売上数量: 前期比: **108.2%**

商品売上高: 前期比: **131.5%** +86億

設備投資・研究開発費 (2011年3月期 第4四半期累計)



単位:百万円	第4四半期累計 実績				第4四半期累計 計画		
	10/3月期	11/3月期	増減	前年比	11/3月期	計画比	
設	9,090	12,585	3,494	138.4%	12,750	98.7%	
備	有形固定資産	8,827	12,352	3,525	139.9%	12,330	100.2%
投	内、土地	1,230	218	1,011		390	
資	無形固定資産	263	232	30	88.5%	420	55.2%
減 価 償 却 費	8,461	9,316	855	110.1%	9,170	101.6%	
研 究 開 発 費	1,035	1,101	65	106.3%	1,060	103.9%	

設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

		百万円
リサイクル	関東リサイクル工場	343
	中部リサイクル工場リニューアル	881
	回収容器選別工場 全国展開	1,438
	PETメカニカルリサイクルプラント	958 (1号機 投資総額 1,251百万円) '10/12稼動
ピッキングセンター	アイ・ロジック福山	972 (投資総額 1,894百万円) '10/5稼動
	アイ・ロジック中部	1,030 (投資総額 2,238百万円) '11/5稼動予定
金型		1,833
IT投資		287

キャッシュ・フロー (2011年3月期 第4四半期累計)



単位:百万円	第4四半期累計実績	
	10/3月期	11/3月期
営業活動によるC/F	16,369	14,291
投資活動によるC/F	9,701	8,201
フリー・キャッシュフロー	6,668	6,089
財務活動によるC/F	11,673	3,919
現金及び現金同等物の増減額	5,005	2,170
現金及び現金同等物の期末残高	11,102	13,273

営業活動によるキャッシュフロー	百万円
税金等調整前当期純利益	13,450
減価償却費	9,316
仕入債務の増加	1,135
売上債権の増加	1,109
たな卸資産の増加	1,110
法人税等の支払	6,191

投資活動によるキャッシュフロー	百万円
有形固定資産の取得	10,780
連結範囲の変更を伴う 子会社株式取得による収入	1,466

財務活動によるキャッシュフロー	百万円
借入金の純増額	3,399
自己株式の取得	1,723
リース債務の返済	3,003
配当金の支払額	2,291

現金及び現金同等物
前連結会計年度末より 2,170百万円増加

中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

連結決算のポイントと今後の見通し



原材料価格は'09年中旬より再度値上り
更に、'11年初旬より急騰

新製品及びエコトレーの採用が順調

徹底した社内改善の推進

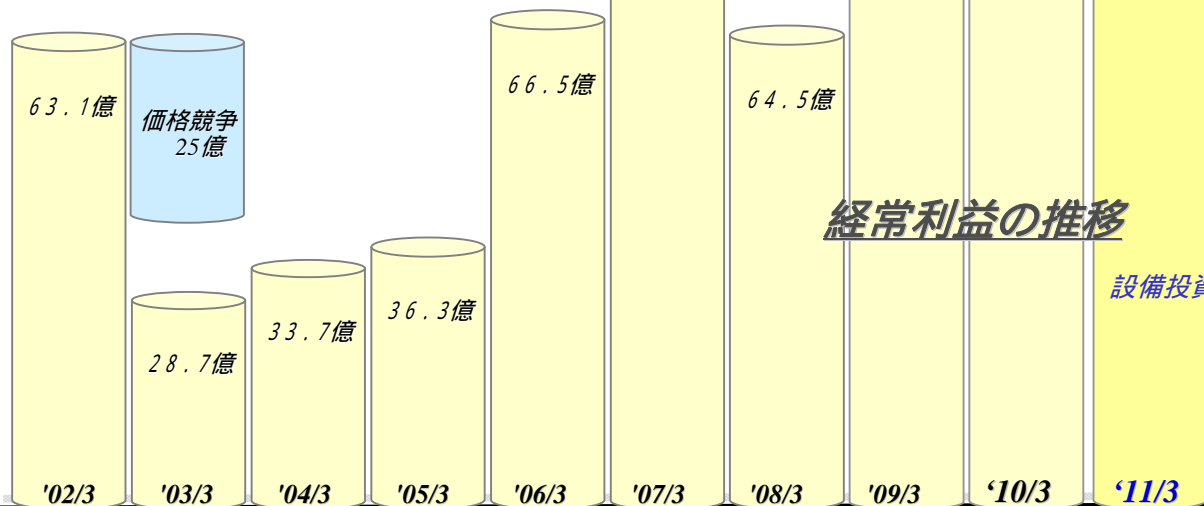
戦略投資

- '10/5: アイ・ロジック福山ピッキングセンター稼動
- '10/9: 関東新工場建設発表('12年春稼動予定)
- '10/11: 新リサイクルネットワーク稼動
- '10/12: PETメカニカルリサイクルプラント稼動
- '11/5: アイ・ロジック中部ピッキングセンター稼動予定

企業統合による企業規模拡大

- '10.4.1: ユカ商事(株)より購買部門事業譲受
- '10.6.1: (株)アルライトをグループに
- '10.10.1: インターパック(株)をグループに
- '10.12.1: ダイアフーズ(株)をグループに

震災後のスピーディーな対応と復旧



'11年3月期 販売実績 **1,407億** 112.6%

製品売上高: 前期比: **107.3%** +71億

製品売上数量: 前期比: **108.2%**

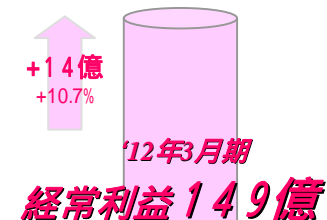
商品売上高: 前期比: **131.5%** +86億

'12年3月期 販売計画 **1,600億** 114%

製品売上高: 前期比: **112%** +125億

製品売上数量: 前期比: **107%**

商品売上高: 前期比: **119%** +68億



原材料価格の急騰を
製品価格へ転嫁

平均10%

世界初の素材・機能

汎用製品、エコトレーの拡販

徹底した社内改善

リサイクル事業の拡大

ピッキング事業の拡大

企業統合による企業規模拡大

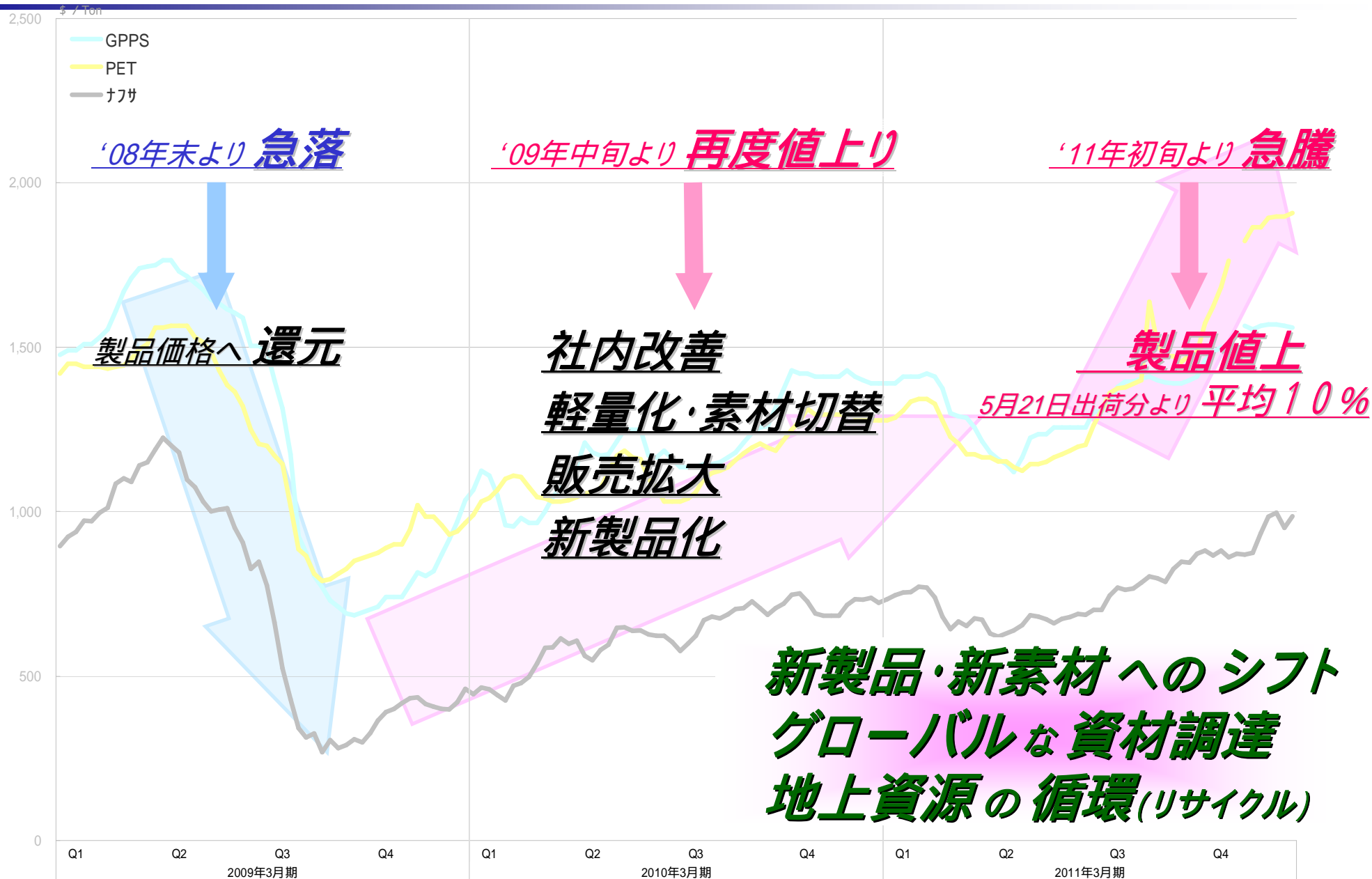
設備投資 126億

設備投資計画 109億

目標とする中期経営指標

1株当たり純利益 **450円**

原材料動向



5つの新シートでマーケットシェア拡大

新シート(新素材)

マルチFP(MFP): -40 ~ +110、耐寒・耐熱 発泡PS容器

一軸延伸PET容器: 耐熱70 + 軽量化

二軸延伸PET容器: 耐熱80 + 軽量化 関東新工場にて'12年春より生産開始

新ハイスター: 従来1.8倍 3.5倍発泡 軽量化PP容器

PP透明容器: 耐熱+110 ヘイズ値1.5を実現



PP透明



新ハイスター



新機能・デザイン

スクリュウタイプ容器 (漏れにくい・繰り返し使える)

漏れにくい容器: APET, PP

内容物がずれにくい容器

新デザイン 容器

スクリュウタイプ



新マーケット

農産物向け 容器・軟包装(フィルム)

食品加工メーカー向け 容器

鶏卵パック

紙 容器

深絞り 容器



ビッグフェア+ミニフェア効果

更なる軽量化への取組み

汎用製品、エコトレー 拡販



汎用トレー

新素材 + 新機能・デザイン + 新マーケットにより
製品数量 7% 増を計画

PS: ポリスチレン
PSP: 発泡ポリスチレン
OPS: 透明ポリスチレン
PET: ポリエチレンテレフタレート
PP: ポリプロピレン

全国を網羅する物流ネットワーク

包装資材・消耗品、2兆円マーケットへの挑戦

新中部ピッキング、関東新工場 稼働時

全国6拠点(10万8千坪)の配送センターと

全国11拠点(3万2千坪)のピッキングセンターから

高品質で効率的な物流サービスを提供

年間、1,600万ケースの製品を問屋へ

年間、7,000万本をピッキングし、

6,500ヶ所のお届け先へ、

百万分の2 (2PPM)の

精度(遅配・誤配)でデリバリー



調達力 + 物流力で共同仕入、共同配送の拡大

環境と障がい者雇用が一体化した事業

- '11年3月期 -

‘11年 Eコマ-アワード2010 金賞 受賞

7,900 の回収拠点から、**8,350** トンの使用済容器を回収し、**160** 億円のリサイクル容器を販売

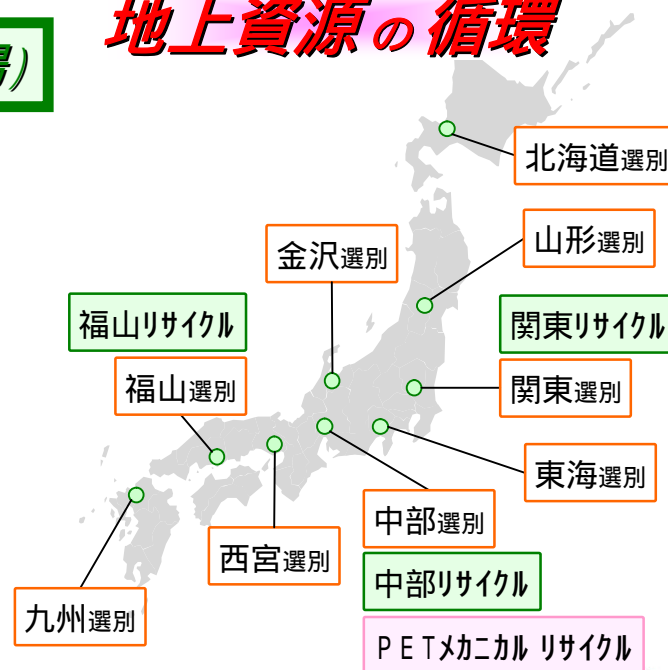


<選別センター能力(常勤)>
PSP:26ライン、10,600ト/年
透明容器:13ライン、1,600ト/年

<リサイクル工場3拠点能力>
PS:5,000ト/年(常勤)
PET:7,200ト/年

- ・発泡PS容器と透明容器の選別
- ・選別減容後にリサイクル工場へ
- ・選別工程には障がい者の参画

地上資源の循環



2012年は、
京都議定書で定められた
6%削減目標の第一約束期間

'11年3月末
障がい者雇用数: 670
(雇用実人数395名)
法定雇用率: 16.1%

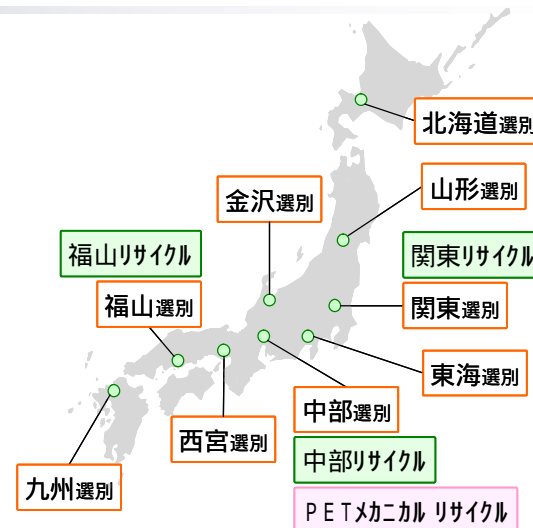
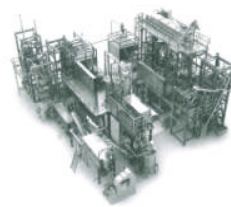
雇用数、雇用実人数には事業提携会社の41(31名)を含む
法定雇用率 = グループ雇用数:629 ÷ 算定基準(パート含む):3,914 = 16.1%

PET透明容器でもリサイクル事業の確立へ

FDA-NOL 申請中、'11年夏 取得予定

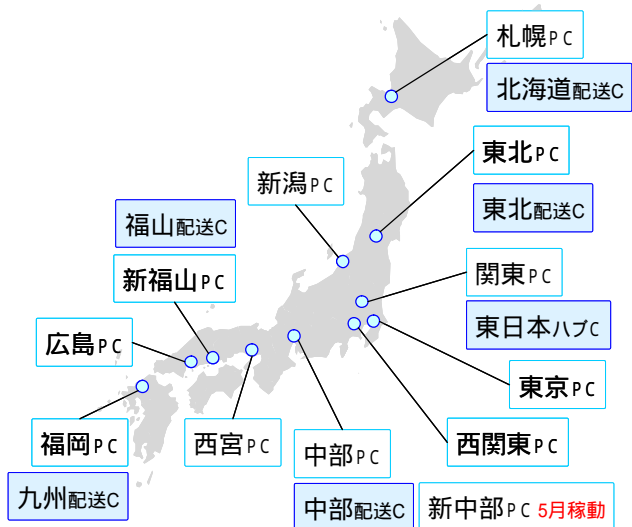
新リサイクルネットワーク構築完了 '10年11月

回収容器選別センター 全国9拠点に展開
 リサイクル工場 全国3拠点をリニューアル
 リサイクル洗浄ラインを高機能設備へ更新
 PETメカニカルリサイクルプラント 導入



➡ PETリサイクル事業化に向け、中部にプラント増設

物流ネットワーク整備



アイ・ロジック福山ピッキングセンター '10年5月稼動

2層 延7,500坪、既存棟と連結し、能力が1.5倍に拡充

アイ・ロジック中部ピッキングセンター '11年5月予定

中部・東海エリアのピッキング機能を強化
 ピッキングエリア: 4層 延3,800坪
 倉庫エリア: 3層 延6,200坪

投資総額: 22億



アイ・ロジック関東ピッキングセンターの拡充 '12年春予定

関東新工場内にピッキングエリア

新シートによる生産拠点の新設

投資総額: 85億

関東新工場 '12年春予定

'11年4月着工、'12年4月竣工
 3層 延14,200坪 (1階:生産工場 2階:ピッキング 3階:物流倉庫)
 PET二軸延伸製品の生産



長期目標に向けて

- 製品/素材力
- 提案力
- 調達力
- 物流力
- 環境経営
- 社会責任
- インフラ

2兆円マーケットへの挑戦

総合力 + M&A

商品
売上

297億

275億

362億

- ・インターパック + 60億
- ・取扱商品拡大 + 10億

430億

商品
3,000億
経常利益率
5%

仕入商品
から
メーカー品へ

5千億円マーケットでのシェア拡大

製品
売上

985億

974億

1,045億

- ・ダイヤフーズ + 30億
- ・製品拡販 + 55億
- ・製品値上 + 40億

1,170億

経常利益計画

149億

製品
2,000億
経常利益率
10%

'09/3

'10/3

'11/3

'12/3計画

長期目標

売上高 1,282億

1,249億

1,407億

設備投資 126億

1,600億

設備投資計画 109億

5,000億

業績状況と企業規模拡大

代表取締役社長
佐藤 守正

震災の影響と対応

東北工場停止(PSP4ライン)

下館工場 PET3ライン停止

物流インフラ混乱

東日本ハブC製品荷崩れ

山形工場・関東工場へ生産移行

山形工場・亀岡工場での代替生産 5月20日完全復旧

自社物流ネットワークにより3月22日には通常出荷業務へ復旧

人海戦術にて復旧

**全国を網羅する、
生産・物流ネットワークにより
迅速な対応と復旧**



安定供給へ向け

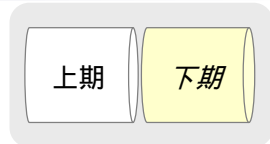
省エネへの取組みと自家発電による電力規制への備え

自家発電: 21台

2012年3月期 経常利益 計画



単位: 億円



2011年3月期 経常利益 134.7億

上期 68.3億 下期 66.4億

‘11年3月期 経常利益
134.7億

原料値上り - 47億 - 22 - 25 **原料値上り - 47億**

原材料
‘11年初旬より急騰

製品値上げ + 40億 + 15 + 25 **製品値上げ + 40億**

販売
製品値上・価格改定 平均10%
製品数量計画107%
汎用製品の拡販とシェア拡大
新製品の拡販
ミニフェア効果

販売増・新製品効果 + 16億 + 6 + 10 **利益改善 + 36億**

‘12年3月期 販売計画**1,600億** 114%
製品売上高: 前期比: **112%** +125億
製品売上数量: 前期比: **107%**
商品売上高: 前期比: **119%** +68億

生産改善 + 9億

生産・物流 改善
製品数量増加 + 改善施策の効果

物流改善 + 4億

グループ会社 利益改善 + 7億

グループ会社
既存グループ会社の改善に加えて
・(株)アルライト
・インターパック(株)
・ダイヤフーズ(株)
のグループ会社が通年寄与

戦略投資による経費増加 - 6億 - 4 - 2 **経費 - 14億**

戦略投資
・アイ・ロジック中部ピッキング ‘11/5 予定
・アイ・ロジック関東ピッキング拡充 ‘12/4 予定
・関東新工場 ‘12/4 予定

経費増加等 - 8億

上期計画 69億 下期計画 80億
前期比 +1億 101% 前期比 +14億 121%

‘12年3月期 経常利益
149億

設備投資計画 10.9億

2012年3月期 経常利益計画 149億

前期比 +14億 111%

メーカーとして基本3本柱を徹底的に追求



もっとも高品質な製品+サービスを

どこよりも競争力のある価格で

高品質

価格競争力

精度向上と情報共有

物流力

必要な時に確実にお届けする

企業基盤をより強固に

企業価値と競争力を高める

PS

MFP(マルチFP) 耐寒耐熱発泡シート

広い温度帯をカバー: -40 (耐寒) ~ +110 (耐熱)

断熱性: レンジアップしても手で持てる

レンジアップしても軟化変形しにくい



PET

一軸延伸PET

耐熱アップ: +70

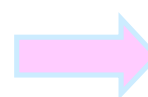
強度アップ: 軽量化が可能



二軸延伸PET '12年春上市予定

耐熱アップ: +80

強度アップ: 更なる軽量化が可能



PET二軸延伸製品の特徴

- ! OPS製品と同等の耐熱性・強度
- ! 優れた素材特性(耐油、耐酸、等)
- ! シート押出から成型までの一貫生産
- ! OPSと同等のコスト



PP

耐熱透明

耐熱性: +110

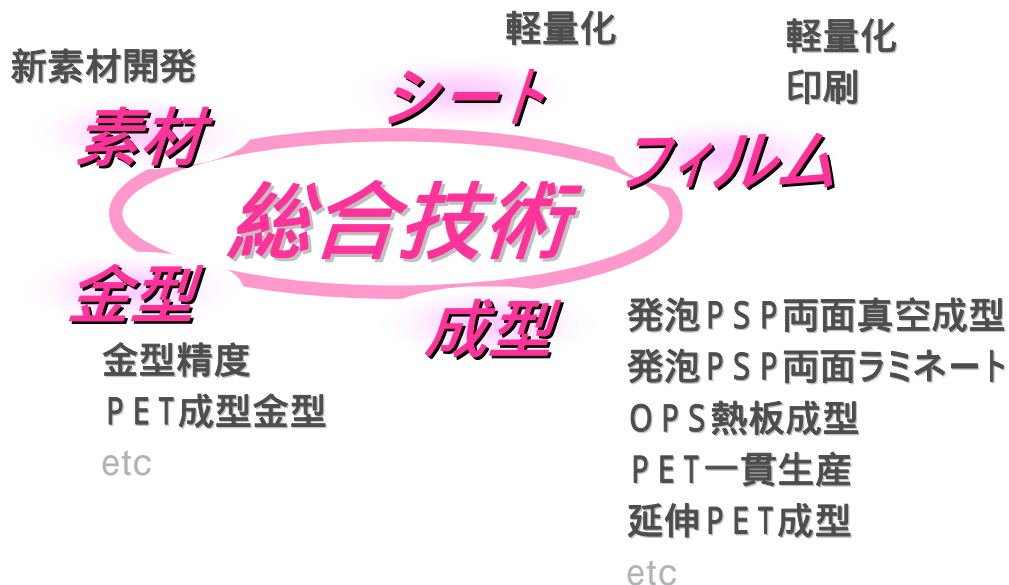
透明度アップ: ヘイズ値1.5を実現

新発泡

1.8倍発泡 3.5倍発泡



5つの新シートでマーケットシェア拡大



新機能

漏れにくい

- ・PP惣菜容器
- ・APETデリカ容器



ズレにくい

- ・PSPデザイン容器



繰り返し使える

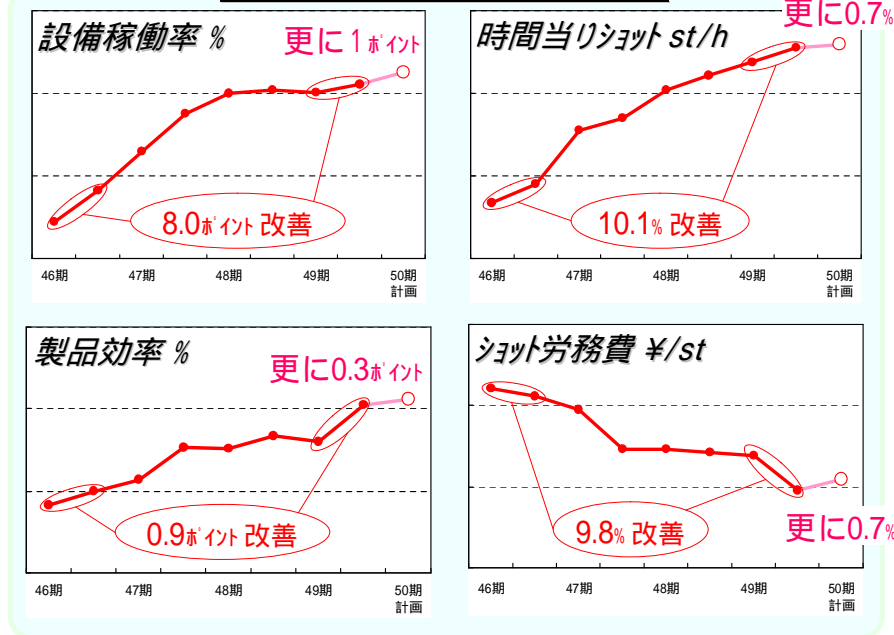
- ・スクリュータイプ容器



汎用製品の更なる競争力アップ



あらゆる指標で改善効果



技能塾

モノづくり革新PJ

次期幹部候補
養成セミナー

基礎技術研究

価格+品質+機能、トータルで競争力のある製品作り

総合技術で、更なる コスト削減と 機能アップ



新製品開発

ニーズ・クレーム

情報収集

顧客訪問

- ・ 売場情報
- ・ 売筋情報
- ・ etc

提案・情報発信

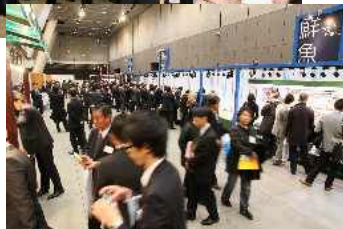
- ・ エフピコフェア
- ・ 商品提案会
- ・ テーマ別 提案
- ・ 商品作り・売場作り 提案
- ・ etc

情報共有・分析

- ・ 売れNavi
- ・ お客様使用実例
- ・ 提案実例
- ・ etc

品名	お得意さま情報	内・納品先	納品日	シリーズ
高橋 49742520 新着25-20 永住 耐熱アルミ		全店	11/25/20	
メーカー	輸入社	得意店	11-12/20/21	
600	0	0	0	0
600mm	500mm	500mm	500	500
製品寸法(幅x高さ)	製品寸法	製品寸法	製品寸法	製品寸法
250mm	120mm	25mm	製品寸法	製品寸法
製品寸法(長さx高さ)	製品寸法	製品寸法	製品寸法	製品寸法
0	0	0	0	0

製品名	特徴
製品A	特徴A
製品B	特徴B
製品C	特徴C



『エフピコ春のミニフェア2011』

‘11年2・3月 東京・名古屋・大阪・福岡

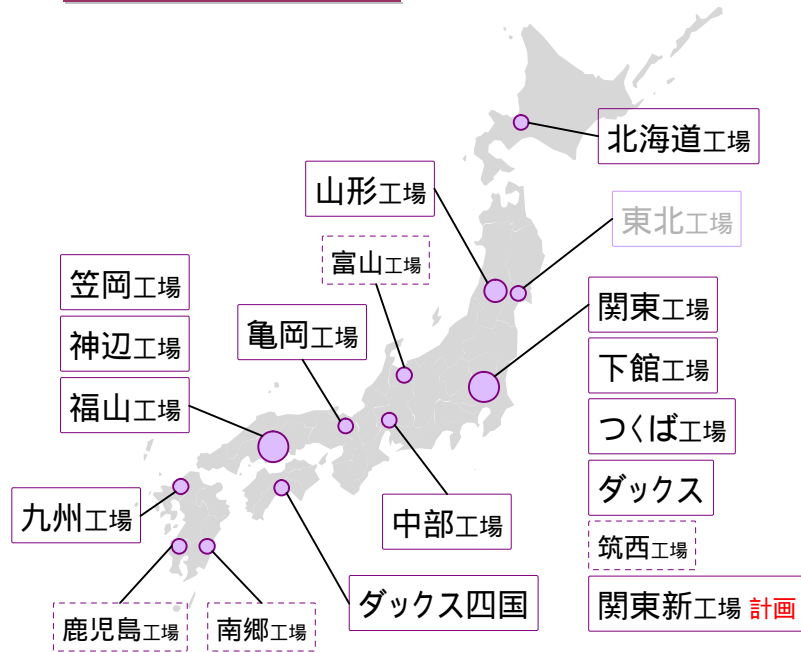
延べ12,400名の来場(前回ミニフェア比132%)

徹底した現場主義で情報収集と問題解決提案

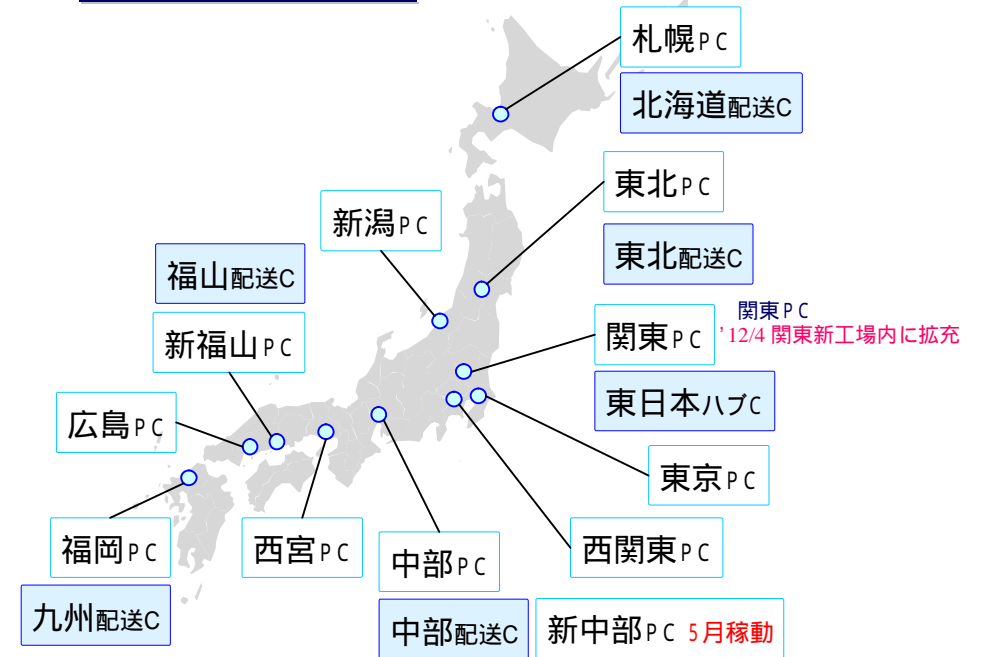
全国を網羅する生産・物流ネットワーク



生産ネットワーク



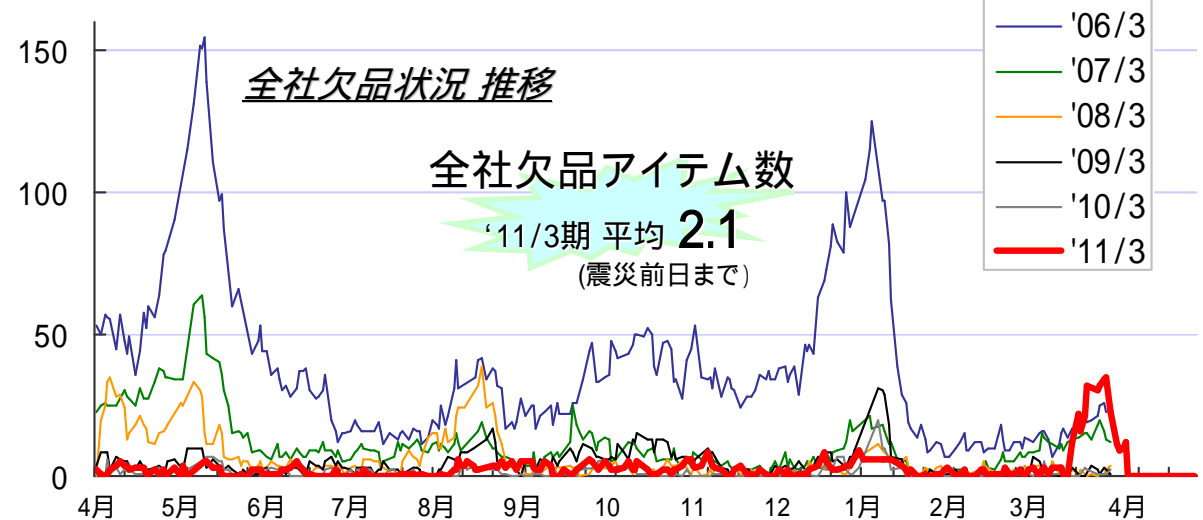
物流ネットワーク



拠点生産への取組み

'11/3期 平均

<u>FLB</u>	需要地での生産比率	<u>97.63%</u>
	横持ち数量比率	<u>2.08%</u>
	他拠点路線出荷比率	<u>0.29%</u>



ピッキング事業拡大に向け ネットワーク整備

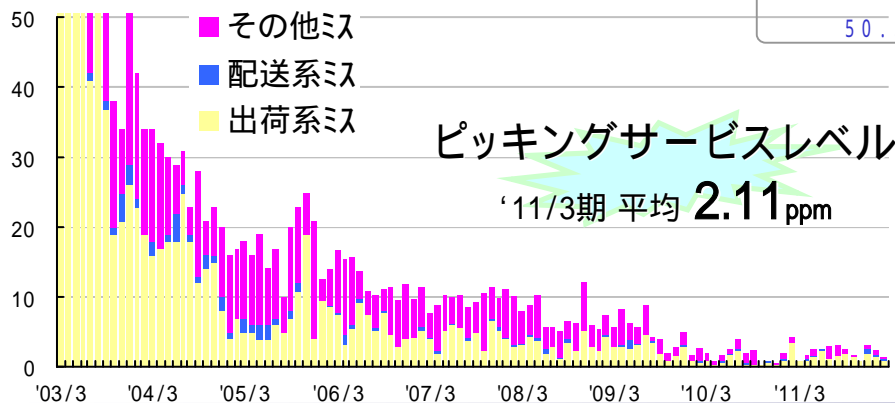
全国を網羅する
物流ネットワーク



ピッキング事業 取扱状況

- ・取扱アイテム: 2万8千アイテム
- ・出荷数量: 580万本/月
- ・出荷先数: 260社、6,500ヶ所

ピッキングサービスレベル推移



包装資材・消耗品 マーケット

全国	北海道	東北	関東	中部	関西・中四国	九州
25,200坪	700坪	700坪	10,700坪	700坪	10,400坪	2,000坪
'11年5月 28,000坪			'12年4月 14,200坪 関東新工場2F 3,500坪計画	3,500坪 5月稼動		
'12年4月 31,500坪						
	札幌PC	東北PC	関東PC 新潟PC 西関東PC 東京PC	中部PC	関西PC 福山PC 広島PC	九州PC
'10年 127百万人 50.1百万世帯	5.5 2.4	9.3 3.4	45.2 18.4	20.3 7.4	32.2 12.8	14.5 5.8
'15年 125百万人 50.5百万世帯	5.4 2.3	9.1 3.4	45.2 18.7	20.0 7.5	31.6 12.8	14.3 5.8

物流ネットワーク & SCM

エフピコ

サプライヤー

新リサイクルネットワーク



回収拠点 約7,900ヶ所

地上資源の循環



配送の帰便で8,350トンの使用済み容器を回収

選別センター 9拠点



発泡トレ、透明容器の選別と減容

- ・発泡トレ > 白・カラーに選別
- ・透明容器 > 素材別選別

選別後に減容

選別工程には障がい者の参画



減容し、リサイクル工場へ移送

リサイクル工場 3拠点



1次洗浄
たんぱく質除去

2次洗浄
油分除去

すすぎ2回

脱水

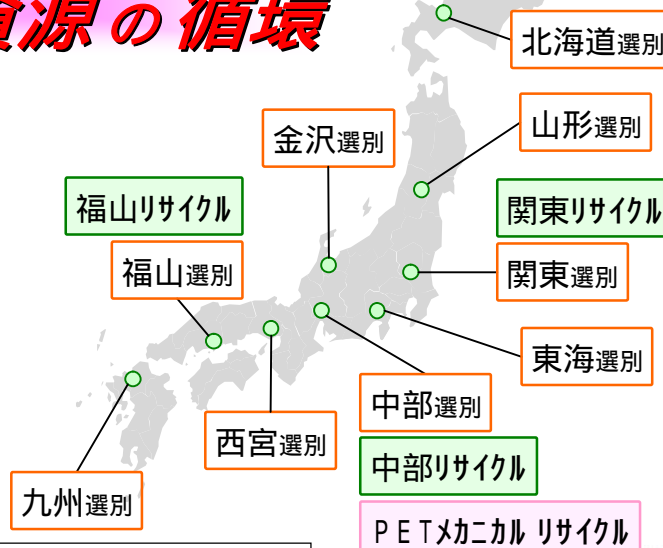
溶融/押出



160億円のリサイクル容器を販売

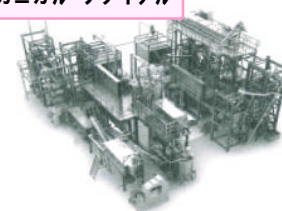


11年 ECOM-アワード2010 金賞受賞



'11年3月末
障がい者雇用数: 670
(雇用実人数395名)
法定雇用率: 16.1%

雇用数、雇用実人数には事業提携会社の41(31名)を含む
法定雇用率 = グループ雇用数:629 ÷ 算定基準(パート含む):3,914 = 16.1%



環境と障がい者雇用が一体化した事業

選別センター 9拠点



<選別センター9拠点能力(常勤)>
 P S P : 26ライン、10,600ト/年
 透明容器: 13ライン、1,600ト/年

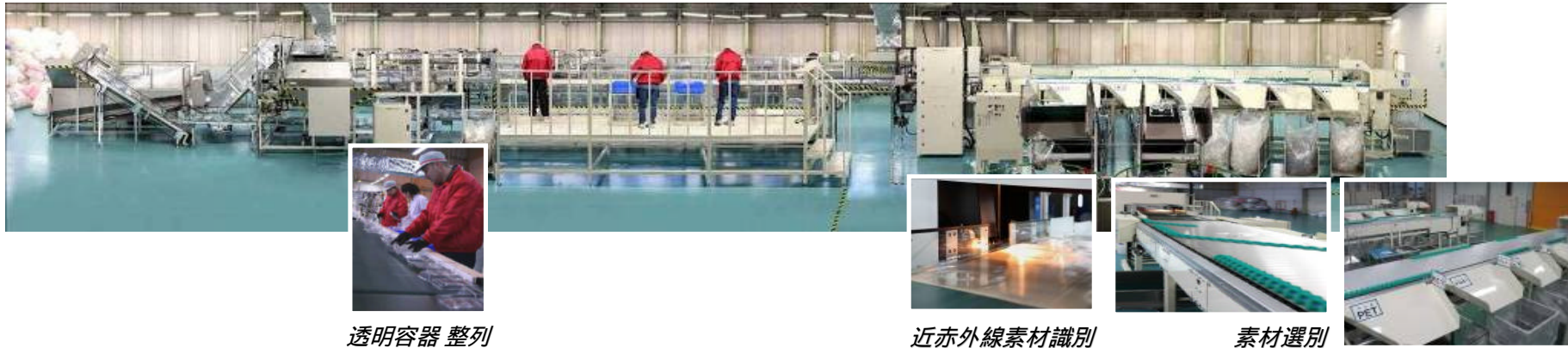
発泡PS容器 色選別ライン 白とカラーに手選別



障がい者の就労

- ・発泡PS容器 色選別作業
- ・透明容器 整列作業

透明容器 素材選別ライン 近赤外線で素材選別 透明容器素材: OPS、PET、PP、PVC、クリスター、他



透明容器 整列

近赤外線素材識別

素材選別



回収



選別



- ・発泡PS容器
- ・OPS透明容器
- ・PET透明容器



減容



リサイクル工場へ



リサイクル工場 3拠点



選別センター



減容/移送

・発泡PS容器
・OPS透明容器

・PET透明容器

<リサイクル工場3拠点能力>
PS:5,000^ト/年(常勤)
PET:7,200^ト/年

リサイクル工場

温水+アルカリ洗浄

PS容器 リサイクルライン



1次洗浄
たんぱく質除去

2次洗浄
油分除去

すすぎ2回

脱水

溶融/押出



PSペレット



160億円の販売

PETメカニカル リサイクルライン



PETボトル選別ライン

超洗浄装置

揮発成分除去装置

PETフレーク



PET再生トレーの実現を目指す



・PETボトル

PET透明容器でもリサイクル事業の確立へ

FDA-NOL 申請中、'11年夏 取得予定

経営の効率化とマーケット拡大

'09.6.1: **太洋興業(株)**より **包材部門**を事業譲受

- ・農産品容器、フィルム
- ・生産地を顧客に

売上規模: **20億**(製品)

'09.10.1: **日本パール容器(株)**を事業譲受
(株)富山陽成社へ出資

- ・食品加工メーカーを顧客に
- ・紙容器

売上規模: **4億**(製品)

'10.4.1: **ユカ商事(株)**より **購買部門**を事業譲受

- ・包装資材、消耗品の調達

取扱規模: **60億**(商品)

'10.6.1: **(株)アルライト**をグループに

- ・ポリスチレンフィルムのトップメーカー

'10.10.1: **インターパック(株)**をグループに

- ・関東圏中心の大手包装資材問屋

売上規模: **120億**(商品)

'10.12.1: **ダイヤフーズ(株)**をグループに

- ・鶏卵パック業界2位
- ・農産品容器
- ・VRVによるPET容器、ポリ乳酸容器

売上規模: **40億**(製品)

新規分野の攻略

新規マーケットへの取組み

- ・農産品容器、フィルム、鶏卵パック
- ・紙容器

製品/素材力

- ・製品力の向上
- ・副資材調達の合理化

調達力

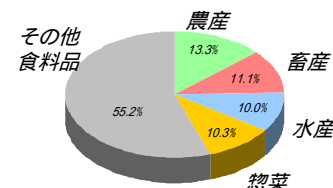
問屋サポート

2兆円マーケットへの足掛り

- ・調達力の強化
- ・物流インフラの活用



チェーンストア食料品販売統計



シナジー効果により 製品/商品販売の拡大

企業規模拡大への取り組み



市場規模: 2兆円超

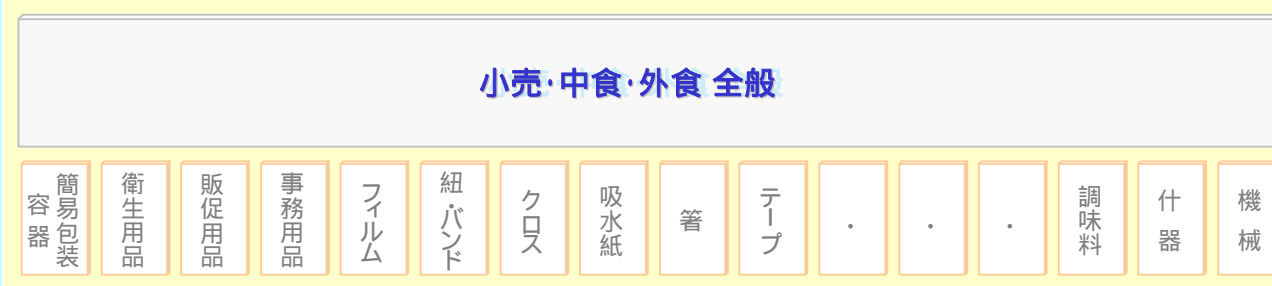
包装資材・消耗品 マーケット

市場規模: 5,000億円

簡易包装容器



消耗品・包装資材 / 機器



得意分野で優位性の確立

新規分野の攻略

問屋サポート

世界初の素材・機能

業務提携・M&A

- '10/12/1 ダイヤフーズ(株)をグループ化
- '09/10/1 日本パール容器(株)を事業譲受
- '09/6/1 太洋興業(株)より包材部門を事業譲受

- '10/10/1 インターパック(株)をグループ化

アイ・ロジック福山ピッキングセンター '10/5 稼動
アイ・ロジック中部ピッキングセンター '11/5 予定

物流ネットワーク & SCM

製品/素材力

提案力

調達力

物流力

環境経営

社会責任

インフラ

- '10/6/1 (株)アルライトをグループ化

- '10/4/1 ユカ商事(株)より購買部門を事業譲受

新リサイクルネットワーク稼動
PETメカニカルリサイクルプラント稼動

サプライヤー

大型投資



アイ・ロジック中部ピッキングセンター '11/5 稼動予定

中部第2配送センター

- 中部・東海エリアのピッキング機能を強化
- ピッキングエリア: 4層 延3,800坪
- 倉庫エリア: 3層 延6,200坪

投資総額: 22億



中部地区に、生産~物流~リサイクルの一大拠点が完成

関東新工場

'11年4月着工、'12年4月竣工

投資総額: 85億

3層 延14,200坪

環境・省エネ・衛生に配慮した最新鋭の施設
(屋上緑化、太陽光発電、陽圧化、等)

1階: 生産施設 5,000坪

PET二軸押出延伸設備

PET熱板成型設備

PSP真空成型設備 関東第1工場より移設

2階: ピッキング 3,500坪

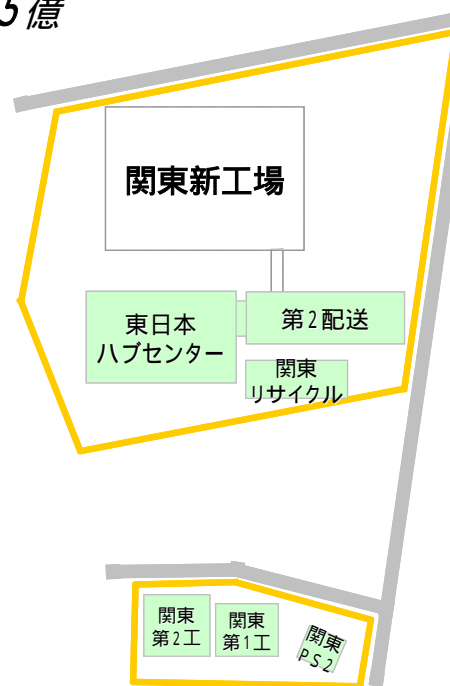
ピッキング業務拡大への備え

3階: 倉庫施設 4,500坪

外部借庫コストの圧縮

拠点内物流効率の改善

関東第1工場は最新鋭工場へ改修



PET二軸延伸製品の特徴

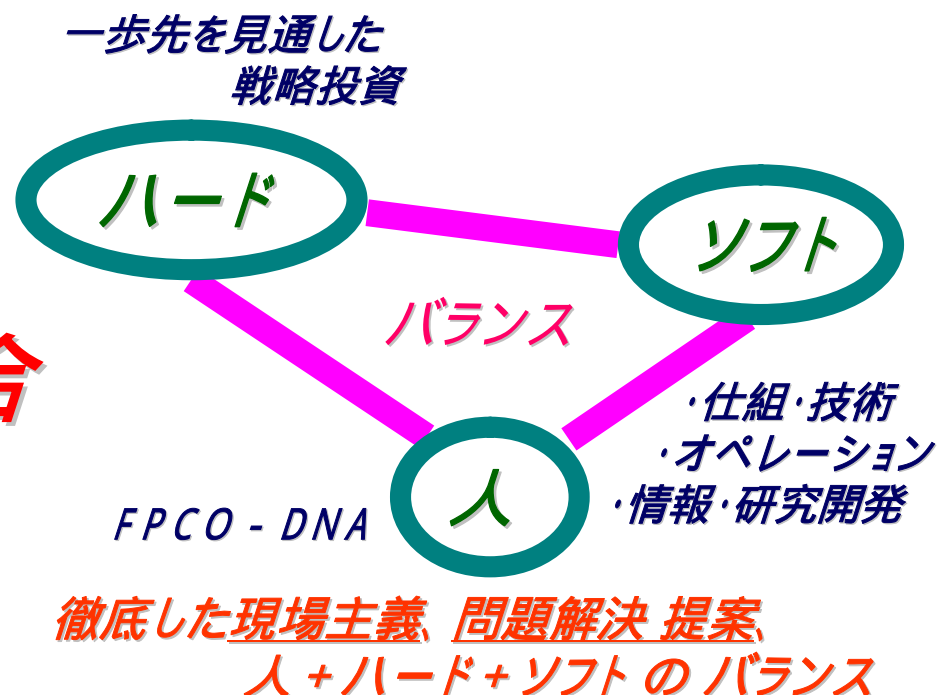
- ! OPS製品と同等の耐熱性・強度
- ! 優れた素材特性(耐油、耐酸、等)
- ! シート押出から成型までの一貫生産
- ! OPSと同等のコスト



新シートによる生産拠点の新設と関東ピッキングの拡充

- ▶ 製品/素材力
- ▶ 提案力
- ▶ 調達力
- ▶ 物流力
- ▶ 環境経営
- ▶ 社会責任
- ▶ インフラ

総合力
+
企業統合



優位性を更に高め

グループ総合力で業界を牽引

立ち止まることのない成長と創造

施設見学会のご案内

‘11年7月4日 中部拠点 施設見学会 を開催予定

選別センター ・発泡PS容器 色選別
・透明容器 素材選別

PETメカニカルリサイクルプラント



リサイクル工場 ・PS容器リサイクル
・PET容器リサイクル

アイ・ロジック中部ピッキングセンター
中部第2配送センター

中部第2工場 ・PSP(発泡PS)容器生産



最新鋭の
生産 ~ 物流 ~ リサイクル
をご覧ください。



・アイ・ロジック中部ピッキングセンター
・中部第2配送センター

JR東海 岐阜羽島駅に集合いただき、
見学の後、岐阜羽島駅解散を予定しております。

添付資料 1

2012年3月期 計画

販売計画 (2012年3月期)



単位:百万円	実績		計画				中間期		
	11/3月期	構成比	12/3月期	構成比	増減	前年比	中間期	構成比	前年比
ト レ ー 容 器	26,866	19.1	29,000	18.1	+ 2,133	107.9%	14,214	18.4	106.2%
弁 当 容 器	73,039	51.9	81,750	51.1	+ 8,710	111.9%	39,700	51.4	109.2%
そ の 他 製 品	4,645	3.3	6,250	3.9	+ 1,604	134.5%	2,420	3.1	148.4%
【 製 品 】	104,551	74.3	117,000	73.1	+ 12,448	111.9%	56,334	73.0	109.6%
包 装 資 材	27,292	19.4	34,000	21.3	+ 6,707	124.6%	16,350	21.2	157.9%
そ の 他 商 品	8,876	6.3	9,000	5.6	+ 123	101.4%	4,500	5.8	101.9%
【 商 品 】	36,168	25.7	43,000	26.9	+ 6,831	118.9%	20,850	27.0	141.1%
【 売 上 高 】	140,720	100.0	160,000	100.0	+ 19,279	113.7%	77,184	100.0	116.7%

製品

- ・出荷枚数 前年比107%伸長
- ・軽量化、素材切替、新素材開発、機能開発などにより、既存マーケットでのシェア拡大
- ・用途開発によるマーケット拡大

商品

- ・グループの調達力及び物流ネットワークを最大限に生かし、取扱量の増加

決算計画概要 (2012年3月期)



単位:百万円	実績		計画				中間期		
	11/3月期	構成比	12/3月期	構成比	増減	前年比	中間期	構成比	前年比
【純売上高】	140,720	100.0	160,000	100.0	+ 19,279	113.7%	77,184	100.0	116.7%
製品売上高	104,551	74.3	117,000	73.1	+ 12,448	111.9%	56,334	73.0	109.6%
商品売上高	36,168	25.7	43,000	26.9	+ 6,831	118.9%	20,850	27.0	141.1%
【営業利益】	13,058	9.3	14,494	9.1	+ 1,435	111.0%	6,692	8.7	101.1%
【経常利益】	13,465	9.6	14,900	9.3	+ 1,434	110.7%	6,900	8.9	101.0%
【当期利益】	7,959	5.7	8,600	5.4	+ 640	108.0%	3,980	5.2	99.4%

販売面 : 既存マーケットでのシェア拡大と、用途開発による新規マーケットへの進出を図る
 当社グループの物流ネットワークを最大限に生かし、商品取扱量の増加を図る

技術面 : 最新鋭の設備導入と更新を行い、製品の軽量化、素材切替、新機能開発、新素材開発など、技術革新を推し進める

生産面 : 生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に対応した生産能力の拡大と生産拠点の最適化

物流面 : 物流ネットワークの更なる整備により、流通全体でのトータルコスト削減と品質向上を図り、ピッキング需要の拡大に備える

環境面 : 発泡スチロール製食品用トレーの自主的な回収に加え、新たに展開した透明容器の自主的な回収を加速し、さらなる循環型社会の形成に努める

設備投資・研究開発費計画 (2012年3月期)



単位:百万円		実績 11/3月期	計画 12/3月期	増減	前年比	中間期	前年比
設 備 投 資		12,585	10,910	1,675	86.7%	6,330	101.9%
	有形固定資産	12,352	10,620	1,732	86.0%	6,180	101.5%
	無形固定資産	232	290	+ 57	124.5%	150	118.3%
減 価 償 却 費		9,316	10,030	+ 713	107.7%	4,820	112.7%
研 究 開 発 費		1,101	970	131	88.1%	470	79.9%

設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

	百万円	
PETメカニカルリサイクルプラント	745	(2号機 投資総額 1,215百万円) '12/5 稼動予定
アイ・ロジック中部ピッキングセンター	1,207	(投資総額 2,238百万円) '11/5 稼動予定
関東新工場	2,932	(投資総額 8,500百万円) '12/4 稼動予定
金型	1,832	
IT投資	416	

添付資料 2

經常利益 増減要因 推移



単位: 億円

	41期	42期	43期	44期	45期	46期 '08/3			47期 '09/3			48期 '10/3			49期 '11/3			50期 計画 '12/3		
						上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期
前期 經常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	43.4	37.8	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	68.3	66.4	134.7
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-19.0	-20.5	-39.5	-14.0	-23.0	-37.0	-25.0	-	-25.0	-	-	-	-	-	-
									原料値下り			+44.0	+34.0	+78.0	-	-	-	-	-	-
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2		+4.0	-	+9.0	+9.0	+14.0	+24.0	+38.0	+25.0	-	+25.0	-	-	-	+15.0	+25.0	+40.0
									第1次 製品値下げ			-24.0	-20.0	-44.0	-	-	-	-	-	-
									第2次 製品値下げ			-10.0	-9.0	-19.0	-	-	-	-	-	-
									原料再値上り			-6.0	-13.0	-19.0	-11.0	-12.0	-23.0	-22.0	-25.0	-47.0
販売増・Mix改善		+45.0		+17.5	+5.8	+2.0	+1.0	+3.0	+4.5	+2.5	+7.0	+3.0	+3.0	+6.0	+11.0	+10.5	+21.5	+6.0	+10.0	+16.0
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+8.6	+3.0	+8.8	+11.8	+6.0	+18.5	+24.5	+14.0	+6.0	+20.0						
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+2.0	+1.0	+3.0	+0.5	+2.0	+2.5	+4.5	+5.0	+9.5	+6.0	+6.0	+12.0	+4.0	+5.0	+9.0
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+2.5	+3.2	+5.7	+1.8	+3.2	+5.0	+4.5	+5.0	+9.5	+4.0	+4.0	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0
グループ会社利益改善												+2.5	+2.5	+5.0	+2.0	+3.5	+5.5	+4.0	+3.0	+7.0
美術品売却益			+1.0	-1.0					+4.0		+4.0	-4.0	-	-4.0	-	-	-	-	-	-
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-1.9	-7.8	-9.7	-9.6	-6.0	-15.6	-7.6	-5.1	-12.7	-4.0	-7.5	-11.5	-8.0	-6.0	-14.0
当期 經常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.3	68.3	66.4	134.7	69	80	149

原材料価格変動の影響



単位: 億円

'03年3月期以降の原材料価格の上昇は

'08年3月期 累計 **118.8億円**

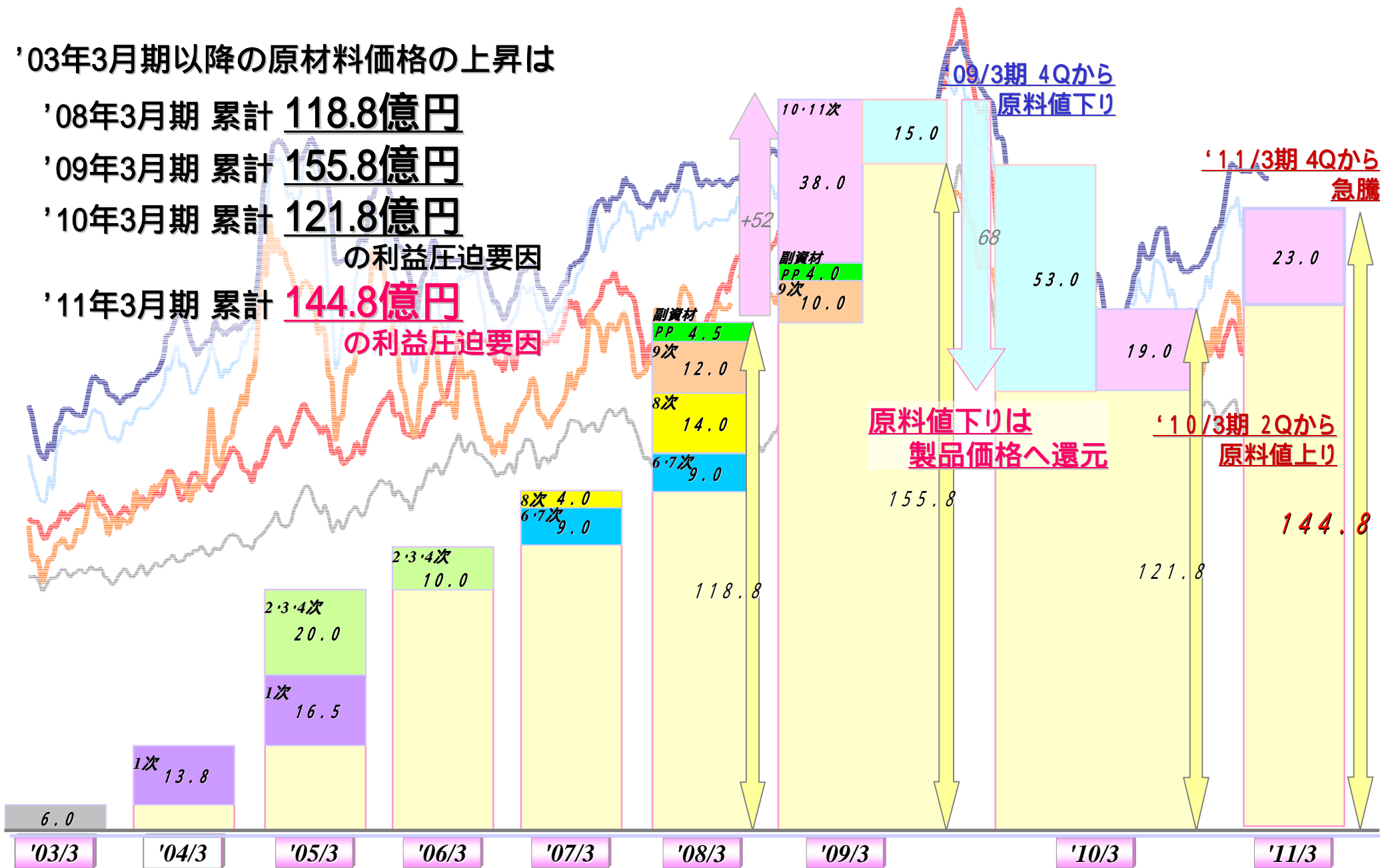
'09年3月期 累計 **155.8億円**

'10年3月期 累計 **121.8億円**

'11年3月期 累計 **144.8億円**

の利益圧迫要因

の利益圧迫要因



社内改善施策



単位: 億円

薄肉・軽量化、素材切替

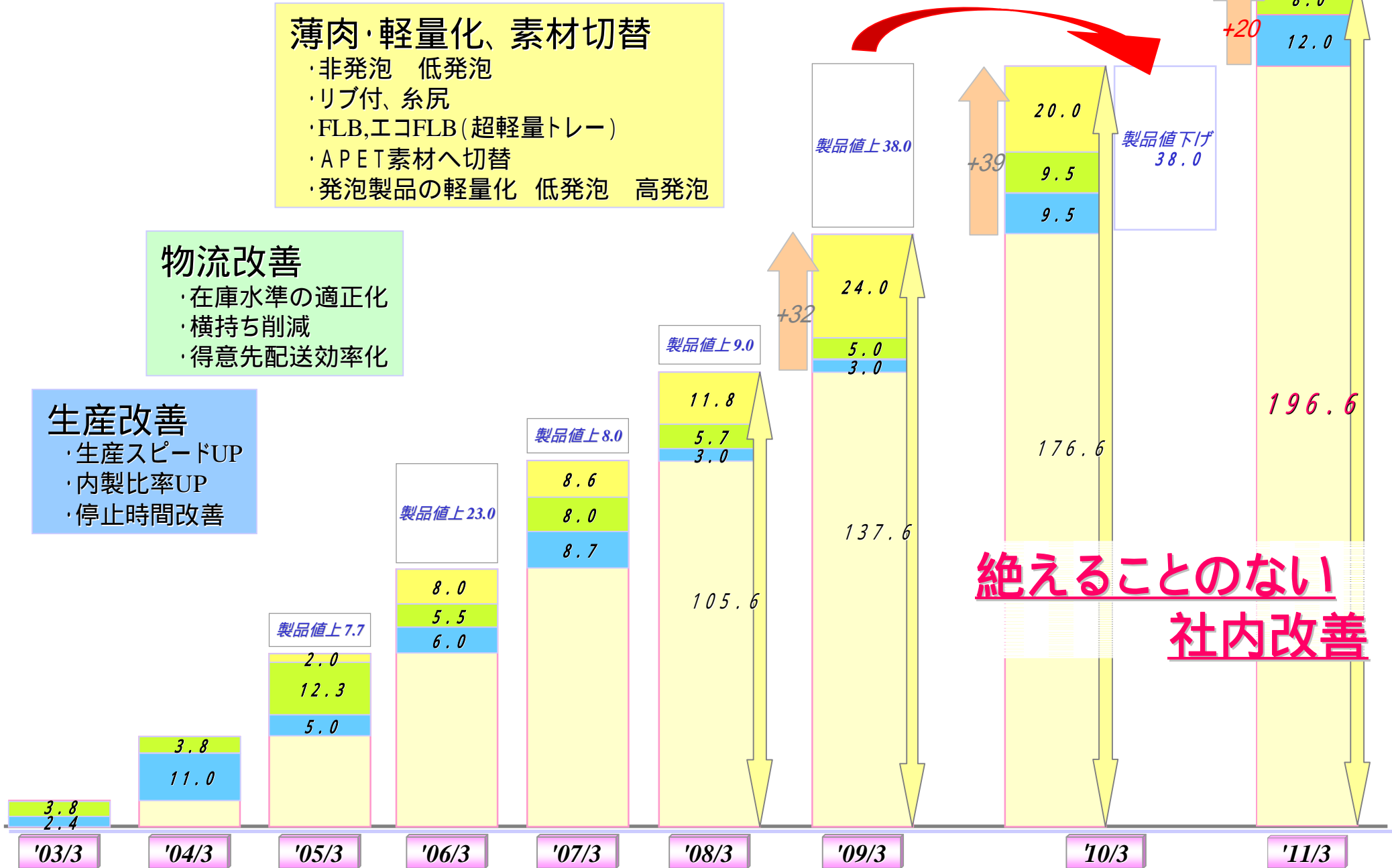
- ・非発泡 低発泡
- ・リップ付、糸尻
- ・FLB, エコFLB (超軽量トレー)
- ・APET素材へ切替
- ・発泡製品の軽量化 低発泡 高発泡

物流改善

- ・在庫水準の適正化
- ・横持ち削減
- ・得意先配送効率化

生産改善

- ・生産スピードUP
- ・内製比率UP
- ・停止時間改善



絶えることのない
社内改善

設備投資・研究開発費 推移



	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期 計画	
生産		山形工場			下館第二工場	中部第二工場	九州第二工場	太洋興業日本ハル容器 ウツ工場	フードバック設備 アルライト	ダイヤフーズ 北海道工場増設	関東新工場
							透明容器の強化 >				
物流		東日本ハブC 九州HC 関西HC			関東八千代C			新福山PC		新中部PC	関東PC拡充
		北海道HC				新北海道HC		物流ネットワーク整備 >			
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場			
							新リサイクルネットワーク構築 >				
									中部 PETメカニカルリサイクル	PETリサイクル事業 >	
その他					東海HC建物	本社事務所	福山地区土地・建物		ユカ商事		
						関東新工場土地	中部地区土地・建物		インターバック		

設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	10,910	
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	10,620	
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	290	
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,832	
リース調達金型	937	800	983	1,440	1,533	1,581	(1,274)	(82)	(0)	(0)	
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	10,030	
							旧基準減価償却(参考)	4,785	5,091	6,324	7,470
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	970	

'03年3月期 '04年3月期 '05年3月期 '06年3月期 '07年3月期 '08年3月期 '09年3月期 '10年3月期 '11年3月期 '12年3月期 計画

>>'09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

素材別 製品構成

